

製品名: Rad18 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16831**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	56kDa

抗原情報

遺伝子名	RAD18
別名	RAD18; RNF73; E3 ubiquitin-protein ligase RAD18; Postreplication repair protein RAD18; hHR18; hRAD18; RING finger protein 73
遺伝子 ID	56852.0
SwissProt ID	Q9NS91
免疫原	抗血清はヒト RAD18 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 301-350

背景

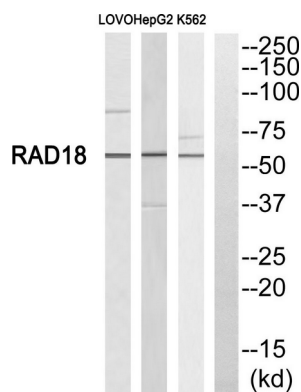
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、*S. cerevisiae* の DNA 損傷修復タンパク質 Rad18 と非常に類似しています。酵母

Rad18 は、損傷 DNA の複製後修復に必要なユビキチン結合酵素である Rad6 との相互作用を介して機能します。酵母 Rad18 と同様に、このタンパク質は保存されたリングフィンガーモチーフを介して酵母 Rad6 タンパク質のヒトホモログと相互作用することができます。このモチーフの変異は、紫外線損傷 DNA の複製に欠陥をもたらし、複数の変異原に対する過敏症を引き起こします。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能：紫外線損傷 DNA の複製後修復に関与する E3 ユビキチンタンパク質リガーゼ。複製後修復は、損傷 DNA の複製時に娘鎖のギャップを埋める役割を果たします。E2 ユビキチン結合酵素 UBE2B と結合して UBE2B-RAD18 ユビキチンリガーゼ複合体を形成し、DNA 結合 PCNA の Lys-164 におけるモノユビキチン化に関与する。ssDNA 結合活性を有する。経路：タンパク質修飾；タンパク質ユビキチン化。類似性：RAD18 ファミリーに属する。類似性：RING 型ジンクフィンガーを 1 つ含む。類似性：SAP ドメインを 1 つ含む。サブユニット：UBE2A および UBE2B と相互作用する。SHPRH と相互作用する。

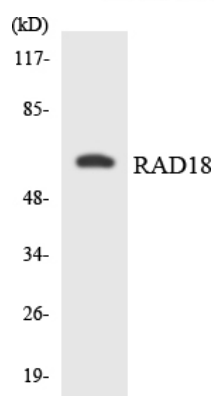
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達、DNA/RNA、DNA 合成、損傷乗り越え合成、細胞生物学、タンパク質分解/ユビキチン、プロテアソーム/ユビキチン、ユビキチン E3 酵素、RING フィンガー E3 リガーゼ

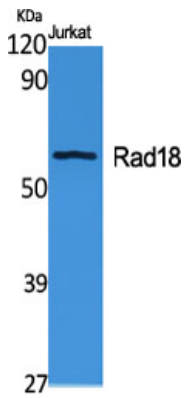
画像データ



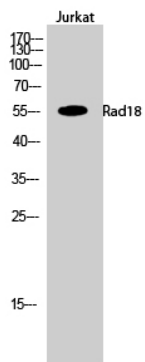
RAD18 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは RAD18 ペプチドでブロッキングされている。



RAD18 抗体を使用した COLO205 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



Rad18 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタン ブロット分析。



Rad18 ポリクローナル抗体を使用した Jurkat 細胞のウェスタン ブロット分析。